

令和8年2月10日

関係各位

苫小牧労働基準協会

令和8年1月末現在苫小牧署管内業種別災害発生状況

日頃より苫小牧労働基準協会の運営にご協力頂き感謝申し上げます。

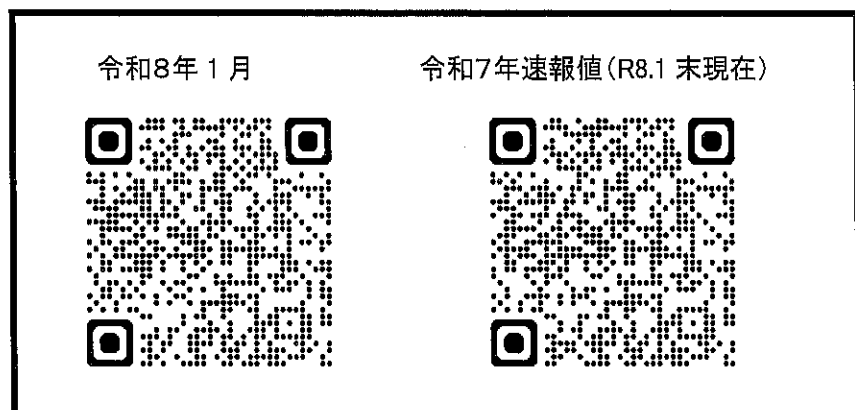
さて、苫小牧労働基準監督署管内の1月末現在の災害状況を送信致しますので、安全活動の参考にして下さい（令和7年の1月末速報値もあります）。

現在、冬季ゼロ災運動を展開中です。転倒・交通事故・除雪作業・一酸化炭素中毒の防止及びに三大災害（墜落・転落、重機災害、崩壊・倒壊）防止に取り組んで下さい。また、駐車場での転倒災害が多発していますので、こまめな除雪、融雪剤や砂の散布で、滑り転倒防止を図って下さい。

2月は化学物質管理強調月間ですので、「慣れた頃こそ再確認、化学物質の扱い方」をスローガンに活動を展開して下さい。

尚、この資料は北海道労働局ホームページより抜粋しております。

下記QRコードから労働災害発生状況にリンクします。



令和8年 業種別労働災害発生状況

(令和8年1月末現在)

苫小牧労働基準監督署

業種別	令和8年			令和7年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
全産業合計		(1) 32	(1) 32		(4) 29	(4) 29	3	10.3	100.0
製造業		6	6		5	5	1	20.0	18.8
食料品									
木材木製品		1	1		1	1			3.1
紙・パルプ					1	1	-1		
窯業・土石		1	1		1	1			3.1
金属・機械		1	1				1		3.1
輸送用機械		1	1		1	1			3.1
その他		2	2		1	1	1	100.0	6.3
鉱業									
土石採取業									
建設業					2	2	-2		
土木工事業									
建築工事業					1	1	-1		
木造建築業									
その他の工事業					1	1	-1		
道路貨物運送業		(1) 6	(1) 6		(1) 7	(1) 7	-1	-14.3	18.8
その他の運輸業		2	2		1	1	1	100.0	6.3
陸上貨物取扱業									
港湾荷役業		1	1				1		3.1
林業									
漁業									
卸売・小売業		3	3		(1) 2	(1) 2	1	50.0	9.4
清掃業		2	2				2		6.3
ゴルフ場		1	1				1		3.1
その他の事業		11	11		(2) 12	(2) 12	-1	-8.3	34.4

※ 本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したもの。

（ ）内は交通事故で内数です。

業種別労働災害発生状況（その2）

「その他の事業」の内訳

（令和8年1月末現在）

業種別	令和8年			令和7年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
農 業 業		1	1		1	1			3.1
畜 産 業					1	1	-1		
理 美 容 業									
その他の商業									
金融・広告業		1	1				1		3.1
映画・演劇業									
通 信 業		3	3	(2)	2	(2)	1	50.0	9.4
教育・研究業									
保健・衛生業		6	6		7	7	-1	-14.3	18.8
飲 食 店					1	1	-1		
その他接客娯楽業 （ゴルフ場を除く）									
上記以外の事業									
合 計		11	11	(2)	12	(2)	-1	-8.3	34.4

※ 本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したものの。

（ ）内は交通事故で内数です。

令和8年 死亡災害発生状況

(令和8年1月末現在)

苫小牧労働基準監督署

件数	発生月	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
/	/	/	/	/	/	/	死亡災害の発生はありません

過去10年間の死亡災害発生状況

発生年	28	29	30	令元	2	3	4	5	6	7	合計
死亡件数	5 (2)	9	4	3	2 (2)	5	5 (1)	4 (1)	1 (1)	5 (1)	43 (8)

※死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数



1 冬季ゼロ災運動について

北海道労働局では、令和7年12月1日から令和8年3月31日までを取組期間として「北海道冬季ゼロ災運動」を展開します。
運動期間中に取り組みべき各種対策を確認していただき、特に転倒、交通事故除雪作業（雪下ろし・重機災害）、一酸化炭素中毒の防止に取り組みましょう。



2 駐車場での転倒災害が多発しています

今年の冬は積雪が多く、特に凍結した駐車場での転倒災害が急増しています。
駐車場は、車の出入りで雪が踏み固められやすい、エンジンの熱で溶けた雪が再凍結する、見た目では凍っていることに気づきにくいという特徴があります。
小まめな除雪、融雪剤や焼砂を撒く等の対策をお願いします。



3 化学物質管理強調月間について

厚生労働省では、広く職場における危険・有害な化学物質の管理の重要性に関する意識の高揚を図るとともに、化学物質管理活動の定着を図るため、「化学物質管理強調月間」（実施期間：令和8年2月1日から2月28日）を主唱し、本年度は「慣れた頃こそ再確認 化学物質の扱い方」をスローガンに活動を展開します。



各詳細については、右のQRコードからリンク先の資料等をご確認ください。

令和7年 業種別労働災害発生状況

(令和8年1月末速報値)

苫小牧労働基準監督署

区分 業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種 割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
全産業合計	(1) 5	(25) 605	(26) 610	(1) 1	(29) 609	(30) 610			100.0
製造業	1	(1) 116	(1) 117		(3) 96	(3) 96	21	21.9	19.2
食料品		37	37		(1) 35	(1) 35	2	5.7	6.1
木材木製品		7	7		9	9	-2	-22.2	1.1
紙・パルプ		5	5		(1) 4	(1) 4	1	25.0	0.8
窯業・土石	1	14	15		6	6	9	150.0	2.5
金属・機械		14	14		15	15	-1	-6.7	2.3
輸送用機械		(1) 12	(1) 12		8	8	4	50.0	2.0
その他		27	27		(1) 19	(1) 19	8	42.1	4.4
鉱業									
土石採取業	1	1	2		3	3	-1	-33.3	0.3
建設業		(2) 50	(2) 50		64	64	-14	-21.9	8.2
土木工事業		11	11		12	12	-1	-8.3	1.8
建築工事業		(1) 22	(1) 22		37	37	-15	-40.5	3.6
木造建築業		4	4		8	8	-4	-50.0	0.7
その他の工事業		(1) 13	(1) 13		7	7	6	85.7	2.1
道路貨物運送業	(1) 1	(10) 94	(11) 95	(1) 1	(7) 65	(8) 66	29	43.9	15.6
その他の運輸業		(1) 33	(1) 33		(2) 25	(2) 25	8	32.0	5.4
陸上貨物取扱業	1	4	5		9	9	-4	-44.4	0.8
港湾荷役業	1	7	8		9	9	-1	-11.1	1.3
林業		4	4		2	2	2	100.0	0.7
漁業									
卸売・小売業		(1) 62	(1) 62		(3) 63	(3) 63	-1	-1.6	10.2
清掃業		(1) 30	(1) 30		(3) 32	(3) 32	-2	-6.3	4.9
ゴルフ場		10	10		12	12	-2	-16.7	1.6
その他の事業		(9) 194	(9) 194		(11) 229	(11) 229	-35	-15.3	31.8

※ 本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したもの。

（ ）内は交通事故で内数です。

業種別労働災害発生状況（その2）

「その他の事業」の内訳

（令和8年1月末速報値）

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
農業業		8	8		14	14	-6	-42.9	1.3
畜産業		38	38		55	55	-17	-30.9	6.2
理美容業					1	1	-1		
その他の商業		(1) 8	(1) 8		5	5	3	60.0	1.3
金融・広告業		4	4	(1) 3	(1) 3	(1) 3	1	33.3	0.7
映画・演劇業									
通信業		(5) 14	(5) 14		(3) 12	(3) 12	2	16.7	2.3
教育・研究業		(1) 5	(1) 5		2	2	3	150.0	0.8
保健・衛生業		(2) 82	(2) 82		(1) 87	(1) 87	-5	-5.7	13.4
飲食店		12	12		(1) 15	(1) 15	-3	-20.0	2.0
その他接客娯楽業 (ゴルフ場を除く)		7	7		11	11	-4	-36.4	1.1
上記以外の事業		16	16		(5) 24	(5) 24	-8	-33.3	2.6
合計		(9) 194	(9) 194		(11) 229	(11) 229	-35	-15.3	31.8

※ 本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したものの。

（ ）内は交通事故で内数です。

令和7年 死亡災害発生状況

(令和8年1月末速報値)

苫小牧労働基準監督署

件数	発生日	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
1	6	10時台	運送業	~20人	交通(道路)事故	トラック	被災者は、札幌市内から苫小牧市内へ向けて大型トレーラー(最大積載量20トン)による古紙運搬業務中、右カーブにおいて左側の路外に逸脱して横転した。被災者は、運転席の外部へ投げ出され、車体の下敷きとなって死亡した。
2	7	9時台	製造業	~40人	巻き込まれ	クレーン	被災者は、テルハクレーンを使用して、架台に立てかけられていた鋼板1枚を吊り上げようとしたところ、何らかの原因により立てかけられていた鋼板類十数枚が被災者側に倒壊し、倒れた鋼板に腹部を挟まれたもの。
3	8	5時台	貨物取扱業	~40人	飛来・落下	トラック	被災者は、セメント粉が入ったタンクローリ(最大積載量20トン)の荷台上で何らかの作業を行っていたところ、何らかの原因によりタンク上部にある鉄製の注入口ハッチの蓋が飛び、被災者の顔面に直撃したもの。
4	9	18時台	港湾荷役業	~50人	巻き込まれ	フォークリフト	港湾荷役作業現場(ふ頭岸壁内の荷捌き場)において、被災者は伝票をトラック運転手に渡す業務を行っていたところ、後進してきた大型フォークリフト(最大荷重16t)の右後輪に轢かれたもの。
5	12	10時台	土石採取業	~5人	巻き込まれ	コンベヤ	被災者は、砂利砕石プラント構内において、重機による砂利の運搬作業等に単独で従事していた。昼休みになっても被災者が事務所に戻ってこないため、不審に思った事業主が構内を探索したところ、稼働しているベルトコンベヤのプリー部分に上半身が巻き込まれている状態の被災者を発見したもの。

過去10年間の死亡災害発生状況

発生日	27	28	29	30	令元	2	3	4	5	6	合計
死亡件数	9	5 (2)	9	4	3	2 (2)	5	5 (1)	4 (1)	1 (1)	47 (7)

※死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数



・災害統計の確定時期について

本資料は令和8年1月末時点での速報値であり、令和7年分(1月~12月末)の業種別災害発生状況については、令和8年3月末に確定予定です。